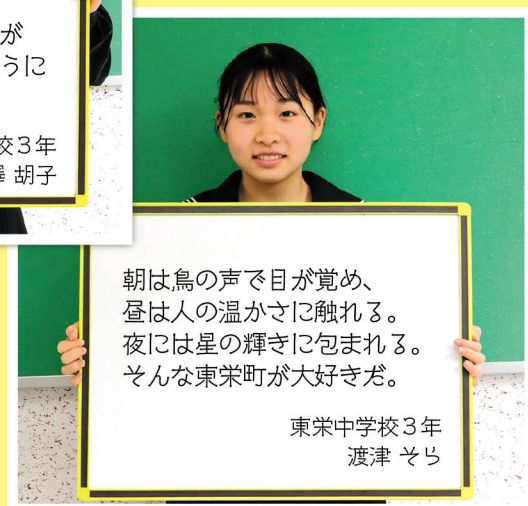
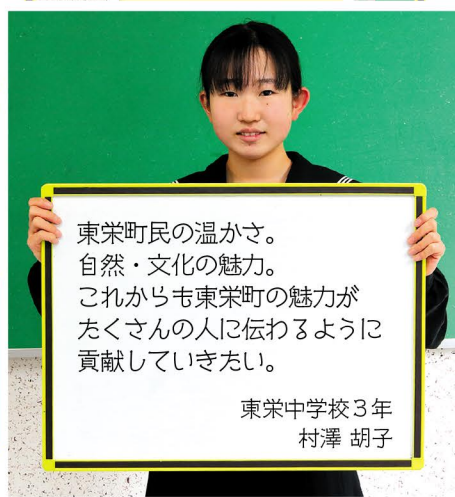
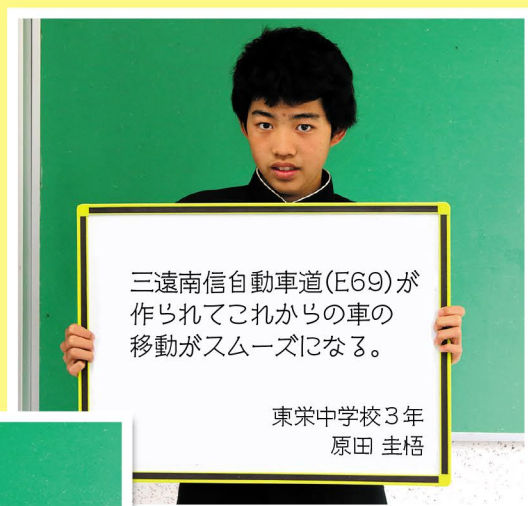
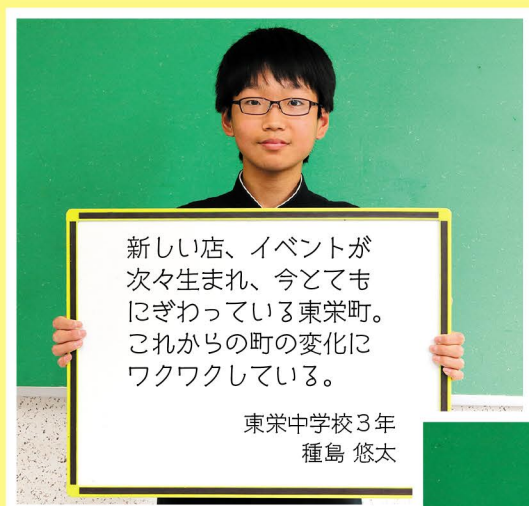




議会だより

とうえい



わたしの町とうえい 8 (令和4年度 3月卒業生)

もくじ

3月定例会・臨時会概要報告	P2-4
本会議討論	P5-7
一般質問ダイジェスト	P8-10
わたしの町とうえい／人生なかよく	P11
議会委員会条例を改正／議会活動報告／6月定例会の予定	P12

3月定例会

会期：3月6日から15日までの10日間

上程された議案31件（内 議了7件）、同意案1件

審議された案件は、**全会一致**または**賛成多数**で**原案通り可決**

令和5年度 新規事業

- ◎**空家評価システムの導入** 208万5千円
空家評価システムを導入し評価計算・図面作成時間の短縮と評価額の標準化を進める
- ◎**コンビニ収納等の導入** 299万円
コンビニでの納付やスマートフォン決済アプリで納入できる仕組みを導入
- ◎**障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定** 499万円
障がい者施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画
- ◎**地域包括ケアシステムの推進** 669万4千円
自分自身や地域の問題を把握し課題を解決するための計画策定・体制整備
- ◎**町の編集部事業の推進** 50万円
情報発信の効率化、町内情報の編集、運営チームを一本化し効果的な広報活動を行う
- ◎**連携教育の推進** 84万9千円
中高一貫教育の推進（田口高校との連携を密にする）
- ◎**小中学校施設の支持整備事業** 582万9千円
小中学校の照明のLED化を進める

審議結果

全員賛成で原案可決した案件

- 東栄町観光施設等整備管理基金条例の制定について
- 東栄町国民健康保険条例の一部改正について
- 東栄町町営住宅管理条例の一部改正について
- 東栄町簡易水道基金条例等の一部改正について
- 東栄町就学指導委員会設置に関する条例の一部改正について
- 町道路線の廃止について
- 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
- 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和4年度簡易水道特別会計補正予算(第5号)
- 令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- 令和5年度後期高齢者医療特別会計予算
- 令和5年度御殿財産区特別会計予算
- 令和5年度本郷財産区特別会計予算
- 令和5年度下川財産区特別会計予算
- 令和5年度園財産区特別会計予算
- 令和5年度三輪財産区特別会計予算
- 令和5年度振草財産区特別会計予算
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について

賛否が分かれた案件（○＝賛成 ×＝反対）

〈議席順〉

議 案（議長は採決に加わらない）	浅尾 もと子	伊藤 紋次	伊藤 真千子	山本 典式	伊藤 芳孝	森田 昭夫	加藤 彰男
議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○
東栄町個人情報保護法施行条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○
東栄町議会委員会条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度一般会計補正予算(第12号)	×	○	○	×	○	○	○
東栄診療所特別会計補正予算(第8号)	×	○	○	○	○	○	○
議会予算特別委員会の設置に関する議決(案)の提出	○	○	○	○	○	×	○
令和5年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和5年度国民健康保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和5年度東栄診療所特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和5年度簡易水道事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和5年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和5年度農業集落排水事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○

臨時会

第1回臨時会(1月16日) 審議結果

全員賛成で原案可決した案件

- 内視鏡システム物品売買契約について
- 令和4年度一般会計補正予算(第11号)について

第2回臨時会(3月24日) 審議結果

全員賛成で原案可決した案件

- 東栄診療所特別会計補正予算(第9号)について

賛否が分かれた案件 (○=賛成 ×=反対)

〈議席順〉

議案 (議長は採決に加わらない)	浅尾もと子	伊藤紋次	伊藤真千子	山本典式	伊藤芳孝	森田昭夫	加藤彰男
一般会計補正予算(第13号)について	×	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算(第6号)について	×	○	○	○	○	○	○

3月24日

臨時会

一般会計補正予算第13号

問

「国保調整交付金が入ってこない」と住民訴訟が起こされた。チラシやSNSで町政を批判している方々から謝罪はあったか。

答

現在も係争中だが、謝罪は全くない。

国民健康保険特別会計補正予算第6号

問

国保調整交付金の内訳を伺う。

答

①診療所整備1億3170万円、②保健福祉センター施設整備1億3170万円、介護支援2340万円、居宅サービス900万円、保健事業備品142万円、介護支援備品8万円、合計1億6560万円。

討論

一般会計補正予算第13号

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

今臨時会の招集告示は開会の2日前だった。地方自治法は、緊急の場合を除き、開会3日前までに招集を告示しなければならないと定める。町は3月議会ですでに補正予算を出すことを明かしており、招集告示は自治法に違反すると考える。初めて扱う企業版ふるさと寄付金の公平性を示す取り組みや議論が不十分だ。議員に時間を与えないのは議会軽視だ。

賛成 森田 昭夫 議員

審議する議事内容は極めて少なく、日程の押し迫った時期であることを理解して議員の大半は了解している。問題はないと理解し議事を進行すべきである。

国民健康保険特別会計補正予算第6号

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

国保調整交付金の交付決定は、町民の監査請求・住民訴訟の結果、町が財源確保に努力したものと考え、喜ぶたい。しかし、そもそも町が設計前に交付要件を確認していれば、このような事態は避けられた。町が自ら、交付を受けられるようになった理由や、変更点を説明しなかったのは残念だ。町民に真摯な説明を求める。

賛成 森田 昭夫 議員

町政批判であって議案に対する反対討論でない。工事費用を支払うためとりあえず起債の手続きをしたが、上級機関と協議の結果、交付金が手当てできることになり、議案には何の問題もなく賛成する。

3月定例会

予算特別委員会

一般会計予算

問 コンビニ収納システム導入に向けた事業の概要を伺う。

答 収納業務の代行手数料が月額50000円、1件約58円の手数料、年間8万〜9万円を見込む。

町県民税、固定資産税、軽自動車税が対象。コンビニ納付やスマホ決済の導入で、納税者の利便性や収納率の向上を図りたい。

問 職員の昇格に必要な在職期間が、近隣の市町村と比べて長い状態を改善する見通しはあるか。

答 近隣市町村の状況を踏まえ、国公準拠を基本として、規則を改正中だ。

1級の在職年数を5年から3年に短縮すると、職員の給料は全体で月額29万円上がるが、新年度予算には含まれない。

問 にぎわい創出事業補助金209万円の算定方法が按分方式で困るという声がある。変更はあるか。

答 地域問題の解決に取り組んでもらう趣旨で、現行は新規団体は補助率100%、上限40万円を交付し、継続団体は予算から新規分を差し引いて申請額に応じて按分して交付している。変更の予定はないが、意見や継続団体が増えているので検討したい。

問 議会費の音声認識システム使用料19万円は、議事録の文字起こしの予算だ。現在、一般質問と委員会質疑以外は職員が文字起こしを行ない、議事録の公表に3か月以上かかる。予算を増やすべきだ。

答 確かに時間はかかるが、予算を増やして、というにならない。

問 土地利用計画策定支援655万円は、市町村が行うデジタル化DXを推進する事業で、令和4年度

441万円、5年度605万円計上し、町負担は441万円。2年度連続して行う必要性は。

答 令和4年度に各区や経済団体、地域づくり団体やPTAなどを対象とした住民ワークショップで将来の町の姿を話し合い、土地という視点から検討した。5年度は地域住民を対象としたワークショップで意見を集約し、方向性を確認していく。

問 橋梁補修工事6300万円に、煮え瀾の橋の補修工事は含まれるか。

答 煮え瀾橋の工事を予定している。橋梁補修工事は5年に一回の点検結果に基づき計画する。同条件であれば人家や観光スポットがある橋を優先する。

国民健康保険特別会計予算

問 運動器検診の導入の経緯と効果、新年度に実施しない理由を伺う。

答 高齢化率の高い本町で、運動器の状態を知り健康に生活するため、浜松医大の協力を得て運動器検診を実施してきた。日常生活に必要な身体機能の低下や骨密度の判断、圧迫骨折の発見につながった。新年度に実施しない理由は10年目を迎え、十分にデータを

得られたため。2年に1回の医大と連携した運動器検診を中止する予定は、今のところない。

東栄診療所特別会計予算

問 令和5年度の外来患者数の見込みを伺う。

答 令和3年度の外来延べ患者数（下川・旧医療センター合計）が2万6604名。4年度は推計2万4352名。3年度と比較して約91.5%に減少している。5年度は前年度と同等の患者数を見込む。

総務経済委員会

観光施設等整備管理基金条例の制定

問 ログハウスの所有者から建物と維持管理費1000万円の寄附を受けた。今後の計画を伺う。

答 ログハウスとその敷地、施設周辺の預り測や旧キャンプ場、溪流等、周辺を周遊することによって、施設の魅力化を図り誘客につなげたい。施設の状況、管理経費の見積りなどを行い、維持管理計画を立て、預り測と一体的に運営を考える。

一般会計補正予算第7号

問 のき山学校施設費は、校舎と講堂の全部を耐震化する設計なのか。部分的に改築せず残すとか、解体するなどしないと、かなりの面積になるのではないのか。

答 のき山学校の教室棟、旧給食室（現・作業棟）、

講堂、カフェ棟の耐震化を設計している。今後、どの部分まで使用するか、費用対効果も精査しながら進めていきたい。

問

①原油価格等高騰対策事業補助金（事業継続支援枠）583万円は、とうえい温泉を対象とした新規事業か。

②温泉に関連して、町が令和4年度に支出を見込む費用を伺う。

答

①温泉の令和4年と3年の燃料費・光熱費の指定期間の差額の3分の2を補助する。

②修繕費など総額3337万円を見込む。

文教福祉委員会

就学指導委員会設置に関する条例の一部改正

問

条例改正で就学指導を教育支援という言葉に置き換える。町の取り組みと今後の方向性を伺う。

答

本条例は、障がいのある児童生徒の適正な就学を図るために就学指導委員会の設置を定めたものだ。

委員会は、小学校の就学前の情報共有や就学後の変化等に対応するため審議を行い、就学前から中学校卒業まで一人一人に適した教育を提供できる体制を整えている。改正は、実態に合わせて文言を修正するものだ。

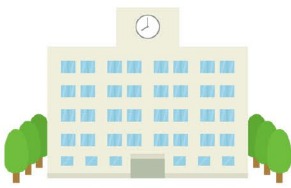
一般会計補正予算第12号

問

昨年10月オープンのだまりプラザの社会福祉協議会への賃借料は未定だったが、無料に決定したのか。

答

検討中である。



討論

議会の個人情報の保護に関する条例の制定

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

国の法改正で町の個人情報保護条例を廃止するにあたり、議会の個人情報保護条例を新設する。条例は、地方議会が取り扱う法的根拠のない匿名加工情報を定義している。匿名加工情報は、本人の同意を得ず作成・第三者に提供できるものだが、万が一、漏洩すれば議会の信頼を失う。

賛成 加藤 彰男 議員

法改正で、国や地方のデジタル業務改革や官民を超えたデータ活用が考えられる。現状は、各分野の個人情報保護法制の相違が「データ流通の支障」となり、同時に個人のプライバシーや権利を守る点から現行法の不均衡・不整合を解消

する必要がある。改正では議会は適用除外となり、議会独自の保護条例の制定が必要であり賛成する。

個人情報保護法施行条例の制定

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

国や自治体の持つ個人情報データを匿名化して流通させ、企業の活用を促すための法改正に伴う条例の新設だ。町の裁量でできる個人情報保護強化策や審議会やパブコメで意見を聞くなどの努力がない。個人情報に加工を施しても、人口の少ない東栄町では個人の識別が容易だ。法改正に無批判では町民を守れない。

賛成 森田 昭夫 議員

国の法改正で制定しなければならぬ条例である。東栄町は日本国の一部であり近隣自治体と足並をそろえたまちづくりをするべきである。

議会委員会条例の一部改正

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

2つの常任委員会を統合する改正で、議員が議案を検討できる時間がさらに減る。3月議会の予算発表から採決まで、東栄町15日間、豊根村21日間、設楽町37日間。東栄町議会は重大議案を議会初日に採決し、追加議案も頻繁で、採決前日や当日に議案を配布することさえある。議会を低コスト・短期間で終わらせる努力より、審議の充実こそ必要だ。

賛成 伊藤真千子 議員

総務経済委員会と文教福祉委員会の2つの委員会を1つにする条例改正である。2つの委員会に全員が参加しているため一本化しても十分対応ができる。また、委員長に大きな負担がかかるが、副委員長・委員全員が協力することによって集

中的に審査し、能率的かつ合理的な議会運営ができ、メリットも多いと判断した。

一般会計補正予算第12号

賛成5名・反対2名

反対 山本 典式 議員

「のき山」関係予算に反対する。町長は、「しっかりと

とした財政計画のもとで事業を進める」と基本姿勢を述べているが、今回の「のき山」に関する予算はその点からしても疑わしい。厳しい財政状況を考えれば、まず適正規模から判断して不用で解体する部分と残して活用する部分を明確にして進めるべきではなかったのか、でないとは施設建設費が億近くになりかねないことも大変心配する。

反対 浅尾もと子 議員

町が厚労省の補助金・国民健康保険調整交付金1億8264万円の交付を見込み、借入予定の町債を減額する。町が一度は断念した

交付金を獲得したことを歓迎する。しかしこの予算に、東栄診療所の暗すぎる薬局への道、車椅子に不都合な

段差、不親切な案内表示などを改善する予算は含まれない。新たな財源は町民の安全・利便性の向上に役立てるべきだ。

賛成 森田 昭夫 議員

反対討論は間違っている。すでに議決され執行している事業で、清算した減額案である。反対するなら予算案が提案されたときである。耐震改修実施設計委託契約は、耐震工事をする場合、どのような工事で行く必要かを調査するもので、この結果を受け執行部は費用対効果など研究・検討した結果を町民や議会に報告する。どのような改修工事を行うか、行わないのかは次期議会が決めることで、予測に基づく反対は体制批判でしかない。

東栄診療所特別会計補正予算第8号

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

旧東栄医療センターの入院ベッド19床の廃止に対する厚労省の病床機能再編支援交付金2736万円が含まれる。県は、地域医療構想にもとづき東三河北部医療圏を「病床過剰地域」と位置づける。町は「病床数が過剰かどうか、町は判断しない」と答弁。しかし新城市民病院長・医師会長らは県の会議で国の基準を厳しく批判した。町は国・県に異議を唱える気概を持つべきだ。

賛成 伊藤 紋次 議員

反対討論で、補正予算の歳入について、愛知県地域医療福祉計画等に言及されたので、医療計画等の説明をさせていただく。医療計画は医療法の基本指針に基づき、県が愛知県地域医療福祉計画を策定し、二次医

療圏である東三河北部地域は東三河北部医療圏の医療計画を策定することになっている。

北部医療圏の医療計画は、愛知県新城保健所が所管し「東三河北部医療圏域保健医療福祉推進会議」が中心となって運用している。

令和5年度一般会計予算

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

①透析クリニック誘致など、町長の公約実現に向けた予算がない。任期最後の議会でも検討状況を明かさなかった。命を守るインフラがなければ移住・定住も進まない。

②6つの計画策定に3361万円を計上。村上町政で「総合計画」は守られず、「診療所等基本計画」は諮問機関に結論を押し付け、「個別施設管理計画」は「検討中」ばかり。期待できない。

賛成 加藤 彰男 議員

新年度予算は骨格予算である。人口が2850人、世帯数1355世帯の東栄町の、日々の暮らし、地域コミュニケーション、教育子育て、医療、福祉など、あらゆる分野で重要な予算である。4月から始まる新年度で、遅滞なく執行されなくてはならない。当初予算に反対ならば、対案として「修正予算」を提出するの

令和5年度国民健康保険特別会計予算

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

町は令和5年度の集団検診で運動器健診を行わず、今後は一年おきの実施とする。町が浜松医大の協力のもと10年以上にわたって独自に続けてきた施策が後退する。私のもとには、継続を訴える声が寄せられた。超高齢化に向かう東栄町で、

介護予防はますます重要だ。12億円を投じた結果、保健福祉の後退を招いたのでは、町民の納得は得られない。

賛成 伊藤真千子 議員

国民健康保険法では、健康教育・相談・診査・管理・疾病の予防に係る被保険者の支援・健康の保持増進を行い、国民健康保険は、傷病の発生を未然に防止・早期発見により重症化・長期化を防ぎ健康になろうとする努力を支援し地域全体の衛生・保健向上を図る等である。住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるため、自分の健康状態を把握し正確な知識を持つためには、必要不可欠な予算である。

令和5年度東栄診療所 特別会計予算

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

新診療所ができて初の新年度予算だ。町は令和3年、

新診療所の収支赤字を1億1656万円と試算した。

令和4年度の患者数は元年度から14%も減少し、新年度の運営にかかる一般会計繰入金は1億5932万円。試算はあまりに楽観的だった。早川診療所長や星野医師の退職、日曜外来の休止など、さらなる患者離れが懸念される。診療科目の削減など、医療縮小を危惧し反対する。

賛成 伊藤 芳孝 議員

診療所予算で目に付くのは、歳出では超音波診断装置を県の補助金を活用して購入、歳入では外来収入の減額ですがこれは人口減少（患者減少）を予想したものである程度やむを得ない予算である。

下川診療所と統合してスタートしたばかりの過渡期であり、これからさらに経営改善され、今まで以上に町民に信頼される診療所を目指し努力されることを期

待したい。

令和5年度 簡易水道事業 公共下水道事業 農業集落排水事業 特別会計

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

初の公営企業会計の予算で、簡易水道事業では、一般会計からの法定外繰入金は1億1575万円、1戸あたり4万6850円だ。

総務省の原則は独立採算だが、東栄町では多額の繰入金が必要であれば成り立たない。減価償却費は1億3645万円だ。町は減価償却で蓄積した東栄病院の清算金10億円を条例に反して一般会計の基金に繰入れた。町の財政規律は崩れている。

賛成 森田 昭夫 議員

反対討論には問題がある。会計の記帳方式が変わっても町民の負担、手続きなど直接の影響は何もないと説

明があった。（料金の値上げは議決が必要で）むしろ、財政・経営状況が明確化し、情報開示は拡大し、その分析を通じて老朽化対策や資金調達の必要性など、将来の経営計画等が策定できる。さらに法改正で、全国の自治体がこの記帳方式に改めるため、歩調をそろえることのできない自治体になるべきでない。反対討論は、単なる国の制度に対する体制批判である。

議会予算特別委員会の 設置に関する議決案の 提出について

賛成6名・反対1名

反対 森田 昭夫 議員

委員会設置に反対する。町長から説明があった通り、骨格予算で政策予算は新体制になってから提案される。常任委員会の審査で十分である。むしろ議会の4年間を総括をする、赤字宿泊施設の補填は町民が必要としているかなど、次の議会に

引き継ぐべき必要な議論と案件はいくつもあり、予算特別委員会の設置は無駄である。

賛成 浅尾もと子 議員

本議案に反対する森田昭夫議員から、1か月しか任期のない我々が予算委員会と審議するのは時間の無駄という発言があった。しかし、いかなる予算も議会での審議・議決なしに動かせない。議員は新年度予算を予算委員会ですべてに審議を尽くすべきだ。





加藤 彰男
議員



一般質問動画へ

凶悪化する犯罪から 住民・地域を守る取り組み

詐欺・防犯対策機器への補助制度

一連の「広域強盗事件」は、社会を震撼させる重大事件である。SNSで実行犯を募り、「闇の名簿」を使い電話で被害者の情報を把握したとされている。「オレオレ詐欺」のような特殊詐欺の手口も組み合わせた犯罪で、生命も脅かす強盗事件へと凶悪化している。私たちが自らと大切な家族、地域社会を守るために、自治体が被害を防止し犯罪を起こさせない取り組みが求められる。

問 「区長会」や「民生委員・児童委員協議会」「社会福祉協議会」などの情報提供や連携はどうか。

答 総務課長

問 町の防犯活動や啓発活動・住民相談は、どのようなになっているか。

答 総務課長

警察との情報共有や、

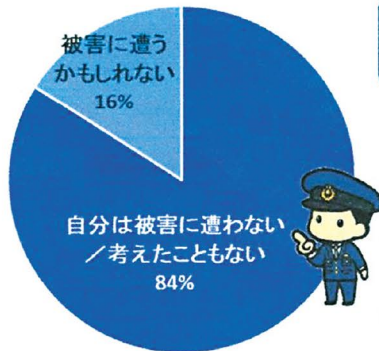
「区長会」では情報提供などを行っているが、「民生委員・児童委員協議会」では、不審な訪問販売の事例などの情報を共有している。「社会福祉協議会」でも対応できる体制になっている。

特殊詐欺被害者へのアンケート調査

(令和4年中:対象者602人)

第一弾

1 被害に遭う前の意識 (有効回答601)



被害者のほとんどが、「自分は被害に遭わない」「考えたこともない」と思っていたんだ。特殊詐欺は、いつ、誰が被害に遭ってもおかしくない、身近で怖い犯罪だよ。

犯人は、毎日、次から次へと、高齢者宅に電話を掛けて、お金を騙し取ろうとしているんだ。

重要 POINT
「詐欺の電話はいつか自分の家にも電話がかかってくるもの」と考えて、対策しておくことが大切だよ。

問

愛知県警の「特殊詐欺被害」の分析(左図)では、被害者の84%の人が「自分は被害に遭わない、考えたこともない」と答えている。

被害に遭った「詐欺の手口」では「オレオレ詐欺」が90%、「還付金詐欺」は65%以上の人が手口を知っていたが、被害に遭っている。県警・設楽警察署と協力して情報提供を進める必要があるがどうか。

答

総務課長

昨年の秋に設楽警察署員が「おいでん家」を訪問し、防犯や特殊詐欺など情報と対策を話して頂いた。警察からの情報提供に基づき、とうえいチャンネルを通じて注意喚起を行っていく。設楽警察署と連携を図っていく。

問

愛知県警では「敬老の日」に、被害防止機能付きの電話をプレゼントしませんか」という啓発二ユースを発行している。特殊詐欺の被害が「1件あたり平均200万円」で、「被害の82%が固定電話」からの被害で、その「被害者の約90%が高齢者」という内容も記載されている。「特殊詐欺被害防止の機能が付き

答

総務課長

た電話」では、「知らない番号の着信拒否」「自動での警告メッセージ」「受話器を取る前の注意喚起アラウンス」「通話内容の自動録音」などの機能がある。被害防止で効果を上げていく電話の詐欺・防犯対策機器に対する補助が必要ではないか。

高齢者を狙った詐欺は手口も巧妙化して、身近に相談できる人がいない一人暮らしの方や、判断力などが低下した高齢者が狙われやすい。被害防止機能付電話機は、防犯協会の「地域防犯」でも取り上げられ推奨されている。

現在補助制度はないが、県の支援制度も創設されるので、既に補助制度を実施している自治体を参考に検討していきたい。



被害防止機能付の電話機

問 全国的には私どもの数値より低い自治体が239あるとの答弁は何を言いたかったのか。

答 副町長 現在の0.18というこの現実を直視しながら財政運営をしてきた。例えば移住定住施策等によって新たな住民を増やしていく事が必要。

問 副町長の財政力指数が0.1や0.2下がったとこで一緒の状況であるという答弁は町執行部の発言と思えないが。

答 副町長 全国的に1700余の市町村がある。確かに財政力指数は各自治体の体力を示す数値と思うが、それ自体をもって自治体経営の是非を問うものではない。自主財源は年々減少しているが各種福祉手当等、上下水道事業等の繰出金など住民生活に直接関わっている経費は年々増加してきているのが依存財源である。

財政力指数の低下について

問 町長は、財政力指数を改善する事は、

答 副町長



山本 典式
議員



答 副町長

財政力指数を0.1引き上げるためには、2900万円程の税収入増を見込む必要がある。

高齢化率が50%という状況をみる限り余程の事がない限り難しいと言わざるを得ない。財政運営においては、しっかりとした収入の見込みを立てた上で総合計画の実施計画を策定し実施していく事が肝要である。

問 平成30年度は依存財源60%で借金約4億円、令和2、3年度は実に80%、借金が6、7億円、こんな財政状況が許されるのか。との答弁が「当然」というのは大雑把すぎないか。

答 副町長

東栄町の財政力を考えれば自力で事を成し遂げることが不可能である。現状の東栄町では他の依

存財源が必要となり、そうでないと大型事業のみならず現在実施している様々な事業も行うことができなくなる。

問 町長の財政公約の中で「今後の財政運営について、このまま突き進めば本町の財政状況は危機的状況になる」と「事業仕分、しっかりとした財政計画のもとに事業を行い、持続可能な財政運営を実現させなければならぬ」を発言したが覚えてるのか。

答 町長

公約としてその様な状況で話したのは間違いはない。第6次総合計画10カ年計画の中でやっているところでの点ご理解いただけない事は非常に残念。単独事業を一般財源で行う事は難しい。依存財源に頼らざるを得ない。監査委員からも言われている様に将来において注

視が必要で安全ではない。しかし将来負担比率も含めて全体の指標は今のところは問題はない。

問 町長、副町長ともに財政力指数の改善は無理であるとの答弁の理由に、人口の増加と税収増が必要といった理由をあげているが、総合計画からも単純には将来その様な状況にはならない。と分かっている事を理由にする事はどうか。

答 副町長

町長が就任当初の平成27年度の決算をみても依存財源76%あったが、令和3年度80%というのは、確かに大きな数字だが、今後そういったことがなくなれば、当然依存財源の率も下がってくる。





浅尾もと子
議員



町の医療体制と 公約実現に向けた町長の基本姿勢

問 村上町政3期8年間で、常勤医師は7名から2名に減り、救急・透析・入院を廃止。診療所の基本構想に明記した訪問看護ステーションの併設も実現しなかった。旧東栄病院の救急告示の取り下げにより、令和4年の救急搬送にかかる平均の所要時間は、東栄町81分、設楽町91分、豊根村116分と大幅に悪化した。これでは住民の命は守れないと考えるが、町長の認識を伺う。

答 町長 所要時間が県平均32分を大幅に上回る状況を、患者の命にかかわる問題だと認識してもらえないのか。

平均でどうだ、ということではないと思う。東栄インターが開通すれば時間も短縮される。新城消防は救急救命士を手厚く配置している。

問 町の答弁に愕然とする。町内の搬送時間は救急要請した地区によって変わるので、一概に平均で比較することは適当でない。

答 福祉課長

救急搬送にかかる所要時間

発生場所	時間区分	平均時間
北設楽郡	2022年	91.2分
設楽町		91.0分
東栄町		81.3分
豊根村		116.5分
新城消防管内	2021年	62分
参考：愛知県	2020年	32.6分

浅尾議員作成

問 令和4年の町内の搬送実績159件のうち、最寄りの救急指定病院・佐久間病院への搬送は1件。県境をまたぐことが搬送の妨げになっているのではないか。

答 町長

新城消防の話なので、行政が患者をどこへ運ぶか判断できない。

問 この4年間で県境を越えた救急医療について、北設3町村で話し合ったか。

答 町長

我々は新城消防に委託している。県外であつてもそこへ運ぶという状況はなんらかの状況がなければ必然的にそこへ搬送されると思う。

問 町長の新公約①透析の民間クリニックス誘致、②緊急搬送の新たな支援制度の進捗状況を伺う。

答 福祉課長

①相手があるので現段階では答えられない。②本場に支援が必要か検討中だが、町民からそのよ

うな相談はない。

問 町長が公約した在宅透析の助成は断念したのか。

答 福祉課長

患者の希望があれば支援のあり方を検討し、制度を考えたい。

問 町は令和2年12月議会で、透析の継続のために「医師や技士の派遣も考えたが、その見込みもなかった」と答弁した。昨年からは岡崎市民病院の腎臓内科医が町へ派遣されているが、町によれば、派遣は町が要望したものではない。町が透析を維持するために、他の医療機関に医師や技士の派遣を打診した事実はあるか。

答 東栄診療所事務長

文書を交わすなどの正式な協議は行っており、日時・相手方・内容等の記録はない。

問 町長の新公約について、今回も具体策はなく、町長の努力が見えない。町長は公約を果たす責任を放棄し、透

析の再開を待ち望む患者や救急搬送で帰宅に困っている町民の期待を裏切った。町長には、公約してきた透析の誘致、緊急搬送の新たな支援制度、在宅透析の助成を本当に実現する気があったのか。

答 町長

私が再選してから1年何か月の間に、民間の透析クリニックが開設するにしても条件的なものが整わないのにそういう話ができるのか。誰がやってもできない。在宅透析は実際にはいろんな条件がある。実際に要望する町民がいれば制度を作りたいと思っている。緊急搬送で遠くから帰るときにいう方がいる場合はしっかりさせていたきたいが、昔からそう。一人暮らしの方や全然身内がない方には前向きに検討したい。



町のために自分たちができること⑤

一昨年度に立ち上げた、参加希望制の課外活動サークル、それが「108中学生サポーター部」です。

昨年度は、「ホテルのさんぽ道」の108マーケットで販売される「オニスター焼き」のパッケージのデザインを考えました。

今年度は、「オニスター焼き」の新しい味を考える企画に新3年生が挑戦しています。

1回目の会議では、自由な発想で「東栄チキン味」「抹茶味」「ブルーベリー味」など特産品を活かしたアイデアを出し合いました。

2回目の会議では、「ゆばやし」のご主人をお招きして、私たちの好みだけでなく、客層や価格、調理にかかる時間など、様々な要素も考慮した、より現実的な案を考え、提案しました。

今後は、今回のアイデアを基にした試作品を試食するなどして、販売する味を決定していきます。

どんな味の「オニスター焼き」が出来るか、乞うご期待！

東栄町のためにできることを考える中からスタートした「108中学生サポーター部」。毎年、形を変えながら、活動がつながっています。東栄町を元気にするためにできることを考え、行動できる姿が東中生の新しい伝統になるよう、励んでいきたいと思っています。

東栄中学校より



企画会議の様子

小中学生の様子は、学校ブログからも知ることができます。ぜひ訪ねてみてください。



東栄小



東栄中

No.8

人生なかよく 結婚46周年を迎えられた 亀井様

仲睦まじく共に力を合わせ、ご家庭の繁栄と町の発展に寄与され結婚46周年を迎えられたご夫婦を紹介します。

人口減少・少子高齢化が進む中で、高齢者介護・福祉のあり方等課題となっています。長い人生を生きるためのお手本として、町の未来を照らすヒントを教えてくださいました。ありがとうございます。

Q 仲良く過ごせる秘訣とこれからの目標

A お互い干渉しないこと。
欲を出さずに余生を楽しむこと。

Q 町や議会に望むこと

A 診療所が町内にあってうれしい。
診療所をなくさないでほしい。
(玄関・トイレ・駐車場など
使い勝手がよくなってうれしい。)



博人さん

衿子さん

令和5年度から、議会の委員会が2つ⇒1つへ ～議会委員会条例を改正～

これまで議会には2つの常任委員会がありました。総務経済委員会と文教福祉委員会です。

平成31年度から議員の定数も10名から8名に削減されましたが、委員会はこれまでと同様に2つの委員会で審査を行ってきました。議員が10名の時は、議員は2つの委員会にそれぞれ分かれて所属していました。しかし現在は8名になり議員全員が、両方の委員会に所属して議案などの審査をしています。

2つの委員会にそれぞれ委員長・副委員長を設けて運営するより、1つの委員会で議員全員が質疑・審査するほうが適切ではないかという理由で、議会に設置する常任委員会を1本化して1つの「常任委員会」とすることになりました。

運営上は予算・決算の各委員会のように、担当各課の所管ごとに分けて審査することになります。

議会活動報告

30 29 28 24	23 20	15 13 11 9 8 7 6 5	3月 28 27	24 22 20 17 10 8	7月 26	25 19 16 13	8 6 1月
新設北設楽交通災害共済組合議会 社会福祉協議会評議員会	北設広域事務組合議会臨時会 議会臨時会	現地監査 例月出納検査、定期監査(建設課)	東米町消防観閲式 第1回議会定例会本会議(開会) 東米中学校卒業式 議会一般質問 予算特別委員会 和太鼓「絆」交流プロジェクト 議会総務経済委員会、議会文教福祉委員会 第4回議会定例会本会議(閉会) 議会報編集委員会(142号)	北設情報ネットワーク事業譲渡に係る検討会の結果報告会 北設広域事務組合議会定例会 議会全員協議会、議会運営委員会 郡正副議長会 例月出納検査、定期監査(東米診療所)	愛知東農協新春農政懇談会 郡正副議長会 定期監査(経済課、福祉課、保育園)	東三河広域連合議会全員協議会 例月出納検査 定期監査(経済課、福祉課、保育園)	東三河8市町村長を囲む新春懇談会 新城市消防出初式 二十歳を祝う会 議会報編集委員会(141号) 議会臨時会

6月定例会の予定

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください(電話 0536-76-0505)。

6月 6日(火)	本会議(議案上程・説明・質疑)
6月 7日(水)	本会議(一般質問)
6月 12日(月)	常任委員会
6月 15日(木)	本会議(委員会報告・討論・採決)

編集委員会 委員長：伊藤真千子／副委員長：加藤 彰男／委員：浅尾もと子

発行責任者 議長：原田 安生



とうえい議会だよりは、環境に優しい
植物油インクを使用しています

発行／東米町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設楽郡東米町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505